

美郷がいちばん、すきです美郷

第17号

2008.10.15

みまろし 議会だより



9月定例会

議員定数18に	定例会概要	2
滞納解消への努力を望む	平成19年度決算を認定	4
議員定数がテーマ	住民と議会の懇談会	8
消費者が求める農産物の生産	先進地議員研修	10
こだわりの陶芸	キラリ美郷人	16

とったど〜

なかよし園芋畑にて

発行／秋田県美郷町議会
編集／議会広報特別委員会

議員定数18に

4人削減する条例を全員賛成で可決

9月定例会を9月3日から9日までの7日間の会期で開きました。審議した議案は、美郷町議会議員定数条例や平成19年度一般会計決算認定など22議案。そのすべてを、原案のとおり可決・認定しました。



6月行われた「住民と議会との懇談会」

今 定例会では、現在22人の議員定数を4人削減し18人とする条例を、議員発議（議員提案）で可決しました。この条例は、平成21年9月おこなわれる予定の、美郷町議会議員一般選挙から適用されます。

町 では現在、財政の健全化に向け、経常経費の見直しや町債の繰上げ償還、公共施設のあり方の検討など様々な歳出削減努力をしています。その結果、平成19年度決算での経常収支比率（※1）が91・4%となり、前年より1・9%改善しました。

議 会と町執行部は車の両輪とたとえられます。議会でも、平成19年11月26日、財政の健全化と議会の活性化を目指して『議会改革議会全員協議会』を立ち上げました。

この議会全員協議会は、これまで6回開催し議論を重ねて、費用弁償（※2）の廃止や臨時会での代表監査委員召集の取り止めなどを決めました。また、議員定数の見直しに関しては、6月おこなわれた『住民と議会との懇談会』でも、広く町民の意見を公聴しました。**可** 決した美郷町議会議員定数条例は、議会改革の集大成といえるでしょう。議員4人の削減は、財政上では年間1840万円ほどの経費削減が見込まれ

ます。しかし、そのぶん議会活動が停滞することなく、町民全体の代表者として更なる活動が求められていることを認識した、全議員賛成での可決となりました。

9月定例会概要

そ の他、今定例会では平成19年度美郷町一般会計決算や5特別会計決算を審査し、平成20年度一般会計補正予算や担い手農地集積高度化促進事業分担金条例などを審議しました。また、一般質問は4議員が登壇して町政をただし、質問1件と陳情2件を採択しました。

以下、決算の内容や本会議での質疑を4～8頁、『住民と議会との懇談会』の報告を8～9頁、7月おこなわれた先進地視察研修報告を10～11頁、一般質問を12～15頁に掲載します。

なお、町広報『美郷』2～5頁にも9月定例会特集が掲載されておりますので、合わせてご覧ください。

（※1）経常収支比率
 経常的に収入される財源（町税、地方交付税などに占める経常的に支出される経費（人件費、町債などの割合））の割合
 （※2）費用弁償
 職務の執行等に要した経費を償うため支給される金銭



提出議案一覧

- 発議第8 美郷町議会議員定数条例の制定について 〈原案可決〉
- 報告第7 専決処分事項の報告について
- 報告第8 健全化判断比率の報告について
- 報告第9 資金不足比率の報告について
- 認定第1 平成19年度美郷町一般会計決算認定について 〈原案認定〉
- 認定第2 平成19年度美郷町国民健康保険特別会計決算認定について 〈原案認定〉
- 認定第3 平成19年度美郷町老人保健特別会計決算認定について 〈原案認定〉
- 認定第4 平成19年度美郷町簡易水道事業特別会計決算認定について 〈原案認定〉
- 認定第5 平成19年度美郷町下水道事業特別会計決算認定について 〈原案認定〉
- 認定第6 平成19年度美郷町農業集落排水事業特別会計決算認定について 〈原案認定〉
- 議案第64 大曲仙北広域市町村圏組合規約の一部変更について 〈原案可決〉
- 議案第65 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて 〈原案可決〉
- 議案第66 地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について 〈原案可決〉
- 議案第67 美郷町職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部改正について 〈原案可決〉
- 議案第68 美郷町担い手農地集積高度化促進事業分担金徴収条例の制定について 〈原案可決〉
- 議案第69 平成20年度美郷町一般会計補正予算第4号 〈原案可決〉
- 議案第70 平成20年度美郷町国民健康保険特別会計補正予算第1号 〈原案可決〉
- 議案第71 平成20年度美郷町老人保健特別会計補正予算第1号 〈原案可決〉
- 議案第72 平成20年度美郷町簡易水道事業特別会計補正予算第3号 〈原案可決〉
- 議案第73 平成20年度美郷町下水道事業特別会計補正予算第2号 〈原案可決〉
- 議案第74 平成20年度美郷町農業集落排水事業特別会計補正予算第3号 〈原案可決〉
- 発議第9 美郷町議会会議規則の一部改正について 〈原案可決〉
- 発議第10 「協同労働の協同組合法（仮称）」の速やかな制定を求める意見書の提出について 〈原案可決〉
- 発議第11 地方消費者行政の抜本的拡充及び法制度の整備等を求める意見書の提出について 〈原案可決〉
- 発議第12 燃料、肥料、飼料、農業資材等の価格高騰に対する緊急対策を求める意見書の提出について 〈原案可決〉

滞納解消への努力を望む

議 会に提出された一般会計の決算状況は、歳入122億8123万5千円・歳出118億179万4千円で、差引残高4億794万4千円ですが、これに翌年度へ繰り越す財源1223万4千円が含まれており、実質収支は4億6720万7千円の黒字決算です。しかし、町税での未納

の金額が町民税で2250万7千円(前年1694万3千円)、固定資産税で6551万6千円(前年6156万6千円)、軽自動車税で188万円(前年130万2千円)と増加傾向にあります。監査委員の審査では「生活困窮者など特別な場合を除き、公平性という観点からも滞納対策班を中心

に滞納解消にむけて一層の努力を望む」意見が付されました。

国 民健康保険や下水道事業など5つの特別会計決算では、制度上同額決算となる老人保健特別会計を除き、すべてが黒字決算となりました。議会では、5日の本会議で担当職員の説明を受け、8日に総括質疑をおこない、この平成19年度一般会計・特別会計決算を、すべて全員賛成で認定しました。決算額の詳細は、別表1をご参照ください。



一体感が醸成された秋田わか杉国体



審査する 久米 力 代表監査委員

審査意見

平成19年度は、秋田わか杉国体の自転車競技、バドミントン競技が本町を会場に開催された。地方経済の停滞による収入の減少、さらには三位一体改革による国庫支出金および地方交付税の削減による厳しい財政状況の中、国体の開催により地域住民の一体感が醸成され盛会裏に終了した。また、まちづくりアンケートを実施して住民の声を今後の町政に反映させるといった取り組みもされており評価すべきことと考える。(抜粋)

健全化判断比率公開

今 定例会で審査した平成19年度決算では、監査委員の意見を付した健全化判断比率の4指標が公開されました。これは、昨年の6月15日『夕張市問題』に端を発して可決された財政健全化法

に基づくものです。この4指標には、早期健全化基準を設けていますが、1つでも超えた場合は『健全化団体』として健全化計画策定と公認

に基づくものです。この4指標には、早期健全化基準を設けていますが、1つでも超えた場合は『健全化団体』として健全化計画策定と公認

会計士による外部監査を義務付けられます。町の数値は、4指標ともに基準を下回る結果となりました。詳細は、別表2をご参照ください。

4指標とも基準を下回る

別表2

健全化判断比率	平成19年度	早期健全化基準
①実質赤字比率	— %	13.82%
②連結実質赤字比率	— %	18.82%
③実質公債費比率	19.4%	25.0%
④将来負担比率	142.8%	350.0%

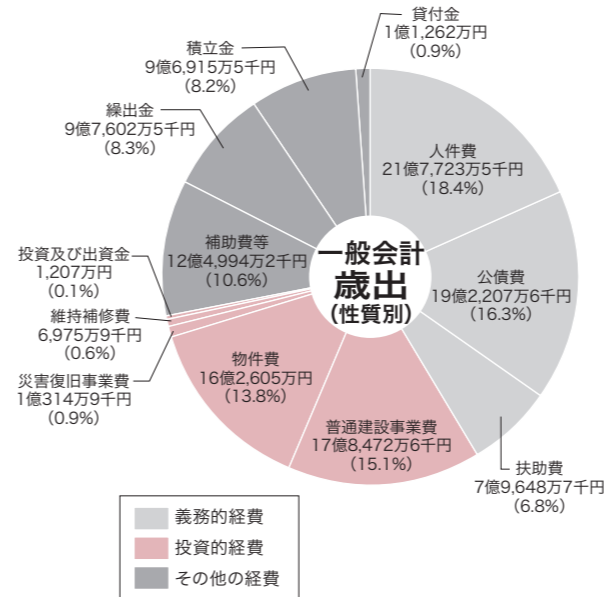
(①②は黒字のため掲載できません)

- **実質赤字比率**
一般会計等を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率
- **連結実質赤字比率**
全会計を対象とした実質赤字(又は資金の不足額)の標準財政規模に対する比率
- **実質公債費比率**
一般会計等が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模に対する比率
- **将来負担比率**
一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率

別表1 平成19年度各会計の収支決算総括表 [単位:千円]

区分	歳入決算	歳出決算	認定の結果
一般会計	12,281,235	11,801,794	全員賛成
国民健康保険特別会計	2,567,234	2,347,027	全員賛成
老人保健特別会計	2,491,136	2,491,136	全員賛成
簡易水道特別会計	592,584	588,173	全員賛成
下水道事業特別会計	211,097	205,263	全員賛成
農業集落排水特別会計	238,205	231,151	全員賛成
合計	18,381,491	17,664,544	

- **義務的経費**
法令やその性質により支出が義務付けられている経費のこと。全体に占める割合が高いほど財政の硬直化を示す。
- **投資的経費**
支出の効果が最終的に資本形成に向けられる普通建設事業費、災害復旧事業費などの経費のこと。全体に占める割合が高いほど歳出の自由度が増しているといえる。



どう使われた19年度予算

9月8日 決算総括質疑

歳入

未納者への対応

議員 収入未済額(※1)が1億円ほどある。町は滞納対策班を設置したが未納者にはどんな対応をしているか。

議員 町営住宅の家賃滞納者も増加している。法的手段もやむを得ないのではないかと。副町長 現実を踏まえる必要だ。現在、退去命令など厳しい対応に移行してきている。

税務課長

今後、差し押さえやインターネット活用の公売、裁判所の支払い督促制度も考えている。

申請根拠

議員 合併浄化槽設置整備事業補助金45基分が次年度へ繰り越した。国・県への申請根拠はどうなっているか。

建設課長

年間1100基の計画は旧町村での目標合計だ。下水道・合併浄化槽事業には21年度までの地域再生計画があり、目標未達成の場合は次年度に繰り越す。

歳出

国体実績の活用

議員 国体開催の実績を今後のまちづくりにどう活かすか。

社会教育課長 ボランティアを通じ地域のつながり意識が醸成された。これを今後も活かしたい。

定住促進の実績

議員 固定資産税相当分を補助する定住促進奨励金の実績件数はどうか。

議員 国土調査はどこにいつまで残っているか。

国調の進捗状況

議員 堆肥センター生産の堆肥成分はいくらで成分保証はいつまでか。

堆肥成分

議員 堆肥センター生産の堆肥成分はいくらで成分保証はいつまでか。



竣工した堆肥センター視察

温泉の湯量

議員 湯とびあ雁の里温泉の湯量は大丈夫か。

白鳥の餌付け

議員 鳥インフルエンザ問題で白鳥の餌付けをどうする。

給食方式の統一

議員 北と南の学校給食センターで、弁当と食缶方式に分かれるが、食べ残し量に違いはあるか。また、食育や食味を考慮し統一してはどうか。

学校統合の状況

議員 望ましい学校規模の検討は、現在どこまで進んでいるか。

不用額の対応

議員 監査委員意見に、未執行で不用額(※2)のものは見直しされたいとあるが、どんな理由でそうなったか。

公債費利息

議員 公債費の利息は多額だ。財政健全化の取り組みではどうしているか。



食缶方式の仙南中学校

※1 収入未済額 未納金額
※2 不用額 事業実績の減、経費節減で支出しなかった金額。
※3 特別交付税 災害や特別事業がある場合などに交付。

千畑温泉建設費を繰上げ償還

9月定例会で審議した平成20年度一般会計補正予算では、歳入・歳出それぞれに3億4012万4千円を追加し、予算の総額を107億8385万4千円としました。主な内容は、千畑温泉湯治館建設事業の借入金繰上げ償還するための2億円、防災行政無線設備工事のための2200万

円、松枯れ病やスクラテングス病の防除のための186万8千円などです。その他、地域が担い手農業者への農地集積を支援する『美郷町担い手農地集積高度化促進事業分担金徴収条例』などを制定しました。以下、本会議での主な質疑を要約し掲載します。

安全対策

議員 千畑地区の松並木と杉並木は今後さらに老木化する。景観維持と安全をどう考える。

総務課長 松は文化財指定、杉は緑地保全地域指定になっており、危険との理由で勝手に伐採できない。当面は、落雪事故を防止することに手を尽くしたい。

議員 学校給食は、原油や諸物価の高騰により予算が困窮していないか。
学務課長 食材の値上がりは、18年度から続いている。これまでやりくりしてきたが、現在の給食費で来年度も可能かは判断できない。

議員 松くい虫 私有地の松くい虫対策はどうする。
農政課長 基本的には所有者が処理する。町は、業者の紹介や処理方法の指導などに努める。

対象組織

議員 現在、集落営農組織が法人を入れて60以上ある。この担い手農地集積高度化促進事業分担金徴収条例は、どの組織も対称になるか。
農政課長 可能性がある地域をモデル組織として取り上げる県単事業で、広く公募はしない。

テーマ

議員定数が



6月行われた「住民と議会との懇談会」

6月10・11・12日の3日間にわたり、町内15会場でおこなった『第3回・住民と議会との懇談会』の内容を報告します。今回の懇談会は、過去2回の反省点を踏まえて、できるだけ町民の方が参加しやすいように1日5会場での開催となりました。その結果、参加者が15会

場合合わせて71人で、過去最高の実績となりました。また今回の懇談会では、現在『議会改革議会全員協議会』で検討している『議員定数の見直しについて』の公聴も目的とし、広く町民のご意見をうかがいました。町民からは、住民との接点が希薄になることを懸念した削減反対のご意

見や、報酬額を減らして定数を減らすべきではないとするご意見もいただきましたが、大多数の方が、財政面などを考慮し、定数削減にたいして賛同するご意見でした。議会は、今回おこなわれた懇談会の内容を参考にし、今定例会で現在22人の議員定数を4人削減し18人にする条例

を全員賛成で可決しました。(2〜3頁に掲載)

以下、議員定数以外で懇談した、町への要望事項やご意見を要約して掲載します。

回答 団員の仕事に配慮して訓練・行事は休日や夜間開催とし、勤務先への理解と協力を要請する。

回答 温泉施設の共通一カ月券を発行してほしい。

町への意見事項 将来を見据えた計画を策定したい。

町への要望事項

要望 自治会所有の財産区林に課税される固定資産税を減免してほしい。
回答 町税条例で規定する減免対象以外であり、

要望 農地水環境保全事業の取り組みにより、環境美化が図られている。事業終了後も国に要望してほしい。
回答 平成23年で終了するが、機会あるごとに国・県に要望する。

要望 温泉施設の共通一カ月券を発行してほしい。
回答 3施設共通券は、運営形態の違いや灯油の高騰もあつて着手していない。将来の経営統合の際に、費用対効果をふまえながら検討したい。

要望 六郷地区の側溝に下水が流れて停滞し悪臭がする。衛生上や観光面でも良くないので早急に解決してほしい。
回答 生活排水による環境悪化を防ぐため、六郷地区では公共下水道事業をおこなっている。しかし接続率が低いので、今後相談活動や戸別訪問で加入促進に努める。

意見 観光振興を図るには寺を有効活用すべきだ。
意見 町民歌をもっと普及させるべきだ。
意見 総合サービス課の職員は、明るい窓口対応を心がけてほしい。

団員確保が課題の消防団

要望 地域包括支援センターは、家庭訪問相談を受けた場合に、所管する機関に引き継いで支援している。また、ふれあい安心電話は24時間体制で相談に応じている。町は、高齢者の方が安心して住めるまちを目指している。

要望 消防団員の確保に良い策を講じてほしい。
回答 消防団員の確保に望む。大きなビジネス

要望 イオン進出をプラス指向で見据えた政策を望む。
回答 大きなビジネス

意見 旧町村の融和は進んでいる。早く分庁方式をやめ、既存庁舎を活用すべきだ。
意見 行政区再編では、町の積極的姿勢を望む。

消費者が求める農産物の生産

7月15～17日、議会では3日間にわたり先進地視察研修を行いました。視察地は、同じ東北圏内の山形県遊佐町・庄内町、福島県南相馬市。環境や規模が同程度の視察地から多くのことを学んだ3日間でした。

山形県遊佐町

飼料米の取り組み

現在、世界的な原油・穀物価格の高騰で食料自給率向上の世論が高まり、飼料米生産や米粉利用が、国の農業政策に反映される状況になっています。議会では、飼料米の取り組みで全国のモデルとなっている

山形県遊佐町を研修しました。飼料米の取り組みは、

- ・鳥海山の麓に位置する遊佐町は、水田主体の農業の町で、水稻を中心
- ・飼料米の取り組みは、大豆の連作障害
- ・水田の形で転作が可能
- ・飼料米は全畜種で利用できる
- ・食糧自給率向上につながる



遊佐町のPRポスター

成16年、食糧自給率向上特区に認定され「飼料用米プロジェクト」として取り組みられており、平成20年には、約170万の栽培面積となっています。飼料米の単価は、1kg当たり46円。それに産地作り交付金4万1500円と、国の加算が25円あります。平均収量は、10ア当たり700kg位でした。

遊佐町の飼料米が定着した理由には、確実な実需者としての酒田市・平田牧場の存在がありました。飼料米を10%混ぜたエサで育てた豚肉は、おいしく肉質の良い米育ち豚として、前述の生協を

中心に販売されています。エサのコストアップ分を肉の販売価格に上乗せしています。消費者の理解は得られています。今後飼料米に取り組みには、

山形県庄内町

住民に開かれた議会

7月15日、住民に開かれた議会を目指し、議会改革に取り組んでいる山形県・庄内町を視察しました。

庄内町は、平成17年に旧余目町と旧立川町が合併し誕生した人口2万4600人の町で、酒田市と鶴岡市に挟まれて位置

らの乗降客が現在3割ほどに増え、買い物客が確実に増加する結果となりました。

商工会の運営委員会です。実施する『eーまちタクシー』という名の事業が、高齢者世帯や一人暮らし老人の生活基盤安定につながり、行政の歳出削減や民間会社の経営支援、さらに商店街の活性化につながっていることに感心させられました。

- ① 議員が身近な場所（公共施設）で議事録閲覧
- ② 委員会の公開
- ③ インターネットを活用した議会中継
- ④ 常任委員会を年間最低10回開催するなどの委

員会機能の強化などです。その他、美郷町でもおこなっている町民との懇談会を年7回開催して

福島県南相馬市

eーまちタクシーで商店街が活性化

視察研修の最後に、美郷町でも取り組んでいるデマンド型乗り合いタクシーの先進地、南相馬市小高区を訪ねました。愛称の『eーまちタクシー』が運行されたきっかけは、平成11年まで

が伸び悩んでおり、空車の有効活用が課題となっていました。また、中心市街地も集客力の低下と空き店舗の増加などの問題を抱えていました。時を同じくして、福島県商工会連合会が、高齢者の外出機会増加による商店・商店街の振興策に着手し、小高町商工会がモデル指定を受けました。平成13年6月、新多目的交通システム『デマンド型乗り合いタクシー』の試験運行が始まり、現在に至っています。『eーまちタクシー』

のコンセプトは、バスより便利でタクシーより安く戸口から戸口までの送迎で、①誰でも利用することができ、運行範囲は旧小高町の行政区内②料金体制は100円と300円で、チケット精算（中心市街地の循環エリアが100円、郊外と商店街を結ぶエリアが300円）③複数の人が乗車する乗り合いが原則④平日の午前8時から午後4時までの時刻表に基づいて運行（土・日・祝祭日、年末年始は運休）などのルールがあります。また、予約が原則で現在1300名の登録者があり、毎日利用している方もいらっしゃるようです。



衛星通信のGPSを使用した配車システム

一般質問

石油高騰への対応など
まちの姿勢を問う

定例会初日の9月3日、一般質問がおこなわれまして。質問者は4議員で、10項目にわたり町の姿勢をたずねました。

質問者

武藤 隆一 議員
吉野 義一 議員
威 久 議員
熊谷 深沢 議員

町独自の補助制度の創設を
国の対策を注視したい

議員 原油価格の高騰による、農業者や運送業の被害救済に町独自の補助制度の創設ができないか。合わせて、低所得世帯や福祉施設に対して暖房費の補助ができないか。国に対しては強力に働きかけるべきだ。



武藤 威 議員

町長 石油製品の価格上昇は住民生活全般に大きな影響を与えており大変な問題となっている。基本的には国策として対応すべきであり、公表された緊急対策の各種制度の周知徹底に努める。国に財政支援措置を要望し、国の対策を注視して町の対応を検討したい。

国保税、介護保険の減免できないか

議員 国保税では支払額

予を認められているケースがあるが介護保険で減免できないのはなぜか。

町長 国保税には低所得者対策として所得に応じた税の軽減があり、各種事情により納税が困難な方には、相談により納期変更や納付猶予の対応をしている。介護保険料の減免制度に、低所得を理由とした一律減免はそれぞれの理由により制度化されていない。

就学援助の現況は

ないが、主張を保険者である組合に伝えたい。

町長 町の就学援助認定者数は七月末現在、117世帯、146名となっている。

歩道設置の見通し

議員 角六線は危険地帯として長年にわたり歩道

設置を要望してきたが、どのように進んでいるか。
町長 町の最重要路線であり活発な要望活動をしてきた。七月に県におい

て事業化が承認され、今後住民説明会を開催し、国に補助要望と伺っている。



来年度歩道設置される塚地区



平成20年度
観光ポスター

交流人口の増加を
水のまちづくりを
進めたい

議員 現在、地方での定住人口増は困難となり、交流人口を増やして地域の活力を高める意識が定着しつつある。

厳しさを増す町の商業の振興策も、地販地消事業の展開と交流人口増の取り組みが相まって始めて成ると考え質問する。
①いよいよ始動する地販地消事業の具体的内容を伺う。②交流人口増の取り組みは様々だが、町の自然環境や伝統文化を活かして観光に重点を置くべきだ。③まちづくり計画の根幹に交流人口の増加を組み入れるべきだ。

吉野 久 議員

町長 ①啓発活動として、町内商店などを紹介する『美郷まるごとガイドブック』を製作中で年末発刊予定だ。また、インターネット活用の情報発信もおこなう。開発活動として『たぬき中華』と『美郷まんま』の商品化に支援する。②交流での観光は大きな要素だ。来町者の目的を勘案すれば、町の気風・伝統や環境を大切にしている行動が求められる。③これまでの交流の一層の充実を期し、最も重要な地域資源の『水』を大切に

ローカルマニフェストを実施するか

たまちづくりを進めたい。

議員 公職選挙法の改正で、最近の首長選挙ではローカルマニフェストが散見されるようになった。11月の町長選挙で、ローカルマニフェストを実施する考えはないか。考えない場合は、現状での町の課題とその解消に向けた取り組みを伺う。

町長 公職選挙法に規定された故に厳格な対応が求められる発言は控えたい。町の課題は、施策以外の分野では仙南地区偏重との誤解であり、施策分野では人口減少と少子高齢化が進むなかでの地域の発展だ。今後、美郷意識や地域融和に留意し、交流と地域資源の有効活用を注ぎたい。

請願・陳情

採択としました

◇「協同労働の協同組合法（仮称）」の速やかな制定を求める意見書についての陳情書

日本労働者協同組合連合会
センター事業団秋田事業所 横道 隆

◇「地方消費者行政の抜本的拡充及び法制度の整備等を求める意見書」の採択等を求める陳情書

秋田弁護士会 会長 佐々木 優

◇燃料、肥料、飼料、農業資材等の価格高騰に対する緊急対策を求める請願

農民運動秋田県連合会
委員長 佐藤 長右衛門

議会の動き



秋田市で行われた広報研修会

7月 15日	議会議員先進地視察研修会（～17日）
8月 1日	県町村議会議員研修会
4日	県町村議会広報研修会
7日	町内学校施設視察研修会
9月 28日	第6回議会改革議会全員協議会
9月 1日	議会全員協議会
10月 3日	議会広報特別委員会 第6回議定例会（～9日）
4日	総務常任委員会
7日	教育民生常任委員会
14日	産業建設常任委員会
10月 3日	議会広報特別委員会
7日	議会広報特別委員会
14日	議会運営委員会

プロジェクト事業の教育効果は自立心が育まれる



熊谷 隆一 議員

議員 町では現在、各種交流事業がおこなわれているが、千屋小学校が32年間にわたり続けてきた東京都港区・御田小学校との交流も、これまでさまざまな成果を上げてきたと考える。

行なわれる。その背景には、国が5年間ですべての小学校での実施を目指す『子供農山漁村交流プロジェクト事業』があるが、このプロジェクト事業の内容と教育効果をうかがう。



清水を観察する御田小児童

教育効果は、①学ぶ意欲や自立心が育まれる②交流を通し食の大切さが学べる③思いやりや豊かな人間性、社会性などが期待できる④交流を通し、社会規範や生活技術が身につく⑤都会での体験がふるさと再発見につながると捉えている。

議員 秋田県の人口減少は著しい。そのため、町では幼保一体保育やマル福の拡大などの支援策を講じているが、さらに子育て支援の立場から、3人以上の子供のいる世帯に対する独自の支援策を条例化できないか。

多子世帯の支援策の条例化を

結婚問題へ積極的な取り組みを 広域的な視点で取り組む

議員 少子高齢化や物価の高騰など、厳しい状況

が続いているが、それを克服し、町を明るく活性化

化していくためには、若い人達のパワーとエネルギーを発揮してもらう施策が必要だ。

急速に進む少子化対策も重要な課題である。根底にあるのは結婚問題であり、町として、積極的に取り組むべきではないか。



深沢 義一 議員

町長 平成17年「こみつと」設立時には67名の会員数で2回の交流事業を行ったが、18年度は女性の参加者がなく中止した

経緯がある。今後は、町内の各種イベントに参加しやすい雰囲気づくりや、開催の周知に工夫をこらしたい。広域的な視点での取り組みも重要だと考え、県

にも支援を要望していく。農業委員会会長 結婚問題は、農家だけでなく町全体の問題と認識している。

個人情報保護法の施行によって、情報の提供などが困難になっているので、農業委員活動の農業相談の一つとして対応して行きたい。

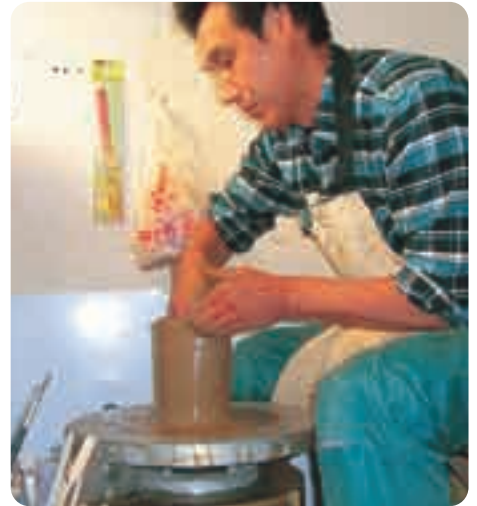
若者主体のイベント創出を

議員 町の活性化を図るために、若い人達が出合う機会が作れる様に、若者主体のイベントを創出する考えはないか。

町長 現在町内各地で行われているイベント時に、スタッフとして協力している若者はいる。若者主体の新しいイベントの創出については、さまざまな観点で意見を聞き、検討していく。



仙南地区で行われる焼炎招福祈願祭



こだわりの陶芸

上深井・高橋 勇進さん

十数年前、日本は経営の合理化が推進され、同時にIT産業の参入が急速に進んだ。世の中がコンピュータに支配されている現実に虚

脱感を感じていた。

これでもいいのか、自分だけでは本流には乗るまいと思うようになった。何か自分の手作りで楽しめるものはないかと模索している中、陶芸と出会ったと高橋さんは言う。

最初の2・3年は窯元めぐりで明け暮れた。やがて、作品を手がけることになるが、ここでも彼にはこだわりがあった。

普通、陶芸教室などでは、市販の材料を使用するというが、彼は自分の田んぼの土、町内の山の土を使っ

て作ると言うことにこだわった。

結果は失敗の繰り返しで、やつとものできるまで2年もかかった。

それだけに、完成したときの達成感、感無量のものであったと言う。

今では、年に一度の展示会への出展を楽しみに、こだわりの陶芸を続けていくと語っていた。

興味のある方はお気軽に連絡ください。

連絡先／美郷町上深井

高橋勇進

TEL 0187(82)1446

編集後記

《ルールとモラル》

米粉加工販売会社「三笠フーズ」が食用にできない事故米や汚染米を販売し、各地に流通されて大きな社会問題に発展した。

会社の利益追求が根幹にあると思われるが、社会のルールを守らずモラルの欠如がもたらした代償は計り知れない。

いよいよ美郷町産の新米が東京都大田区民に届くことになった。「水」と「交流」をキーワードにした「信頼の美郷米」に期待したい。

戸澤 勉

議会特別委員会報

議長	伊藤 福章
委員長	吉野 久
副委員長	高橋 正治
委員	熊谷 隆一
委員	鈴木 良勝
委員	熊谷 良夫
委員	戸澤 勉

次回定例会は、12月上旬の開会を予定しています。傍聴を、お待ちしております。

美郷町議会事務局

〒019-1541 秋田県仙北郡美郷町土崎字上野乙170番地10(美郷町役場・千畑庁舎)
TEL.0187-84-4912 FAX.0187-85-3102 E-mail gikai@town.misato.akita.jp/

美郷町ホームページ <http://www.town.misato.akita.jp/>



地球環境にやさしい大豆インキを使用しています。